

筆者は、1976年5月9日に洲本市鮎屋・鮎尾ダム上流（通称 奥山待合）で、クロフオオシロエダシヤク *Pogonopygia nigralbata nigralbata* Warren の吸水活動を観察したので記録しておきたい。

この日は、柳高校生物部の合宿で、前日より部員5名と山崎俊道氏と共にこの地に来ていたのであるが、ベース・キャンプより奥へ10数分登った鮎屋川の源流が道を横切っている地点に差し掛った瞬間、斜め前方より中型の白っぽいシヤクガが飛来し、飛び石の1つに降りたのを目撃した。

目前の飛び石に降りたシヤクガは、数秒後には水が石に染みているところまで数センチ・メートル歩き、すぐ口吻を伸して吸水を開始した。近よってよく観察すると、この白っぽい中型のシヤクカは、クロフオオシロエダシヤク（雄）のやや古びた個体であった。吸水を始めたこの個体は、途中で何度か口吻を動かしていたが、大半は口吻を伸した状態で吸水を続け、約12分後に飛び去るまで同じ位置で吸水活動を続けた。

接写装置を持ち合わせていなかった筆者は、標準レンズで限界の35センチ・メートルの位置まで接近して写真を数枚写したが、水音のためか蛾は気付かずに吸水を続けた。

尚、当日の天候は晴れで日中は暖かであったが、“pumping” は観察できなかった。

#### 参 考 文 献

- 羽淵 彰 (1970) 夜間に吸水する蛾。佳香蝶 22(83):92.  
田中 蕃 (1971) 蛾の吸水について。—— 22(85):174-175.  
江島正郎 (1973) ウスアオシヤクの吸水。蛾類通信 (75):253.

#### 9 月にクロシオキシタバを採集

本年(1976年)9月12日の夕方、洲本市安乎町の筆者の自宅で壁に止まっていたクロシオキシタバ *Catocala kuangtungensis* Mell のほぼ完全なものを1頭採集した。なお本年8月11日にも同じ場所で本種を1頭採集したが、これまでに安乎町で採集している *Catocala* は、キシタバ *C. patala* C. et R. Felder とコガタキシタバ *C. praegnax* *esther* Butler だけで、クロシオキシタバは採集していなかった。 (堀田 久)